

英語の発音について（とりあえずAからZまで）

A - /æ/

例: apple

解説: 口を広げて「あ」と「え」の中間音を出します。日本語の「あ」よりも口を開ける感覚です。

B - /b/

例: ball

解説: 唇を閉じて、軽く破裂させるように音を出します。喉の振動を感じる点がポイント。

C - /k/

例: cat

解説: 喉の奥から「カッ」と音を出します。唇は動かさず、息だけで発音。

D - /d/

例: dog

解説: 舌先を上歯の裏につけてから、軽く破裂させるように「ドッ」と音を出します。

E - /ɛ/

例: elephant

解説: 口を少し開けて、「エ」と言うときの音です。日本語の「エ」に近いですが、少し広めに口を開けます。

F - /f/

例: fish

解説: 下唇を軽く上の前歯に当てて、息を出す感じで「フ」と発音します。

G - /g/

例: goat

解説: 喉の奥から声を出しながら、破裂させるように「グッ」と発音します。

H - /h/

例: hat

解説: 息を吐くようにして「ハッ」と発音します。喉を使わず、息だけで音を作ることがポイント。

I - /ɪ/

例: igloo

解説: 口をやや閉じて「イ」と言う感じで発音しますが、日本語の「イ」より短くてはっきりした音です。

J - /dʒ/

例: jump

解説: 舌を上あごの少し後ろに置き、破裂音のように「ジュッ」と発音します。

K - /k/

例: kite

解説: Cと同じく喉の奥から「カッ」と発音します。

L - /l/

例: lion

解説: 舌を上歯の裏に軽く当ててから、音を出します。日本語の「ラ」行とは違う独特の音です。

M - /m/

例: moon

解説: 唇を閉じたまま「ン」と声を出します。鼻に響く感じがポイントです。

N - /n/

例: net

解説: 舌を上歯の裏に軽く当てて、鼻から音を出すようにします。「ン」の音が強調されます。

O - /ɒ/

例: octopus

解説: 口を大きく開けて「オ」と発音しますが、日本語よりも丸みを帯びた音です。

P - /p/

例: pig

解説: 唇を閉じて、軽く破裂音を出すように「プッ」と発音します。

Q - /kw/

例: queen

解説: 「ク」と「ウ」の間の音で、息を強く出して発音します。

R - /r/

例: rabbit

解説: 舌を巻き込むようにして、喉から「ル」と発音します。日本語の「ラ」行とは違う、巻き舌の音です。

S - /s/

例: sun

解説: 上の前歯と下の前歯の間から息を出すように「ス」と発音します。

T - /t/

例: tiger

解説: 舌を上歯の裏につけてから、軽く破裂音を出すように「トッ」と発音します。

U - /ʌ/

例: umbrella

解説: 口を少し開けて、短く「ア」と発音します。日本語の「ア」よりも力を抜いた音です。

V - /v/

例: van

解説: Fと似ていますが、唇と歯を軽く当てながら、喉を振動させて「ヴ」と発音します。

W - /w/

例: water

解説: 唇をすぼめてから「ウ」と発音しますが、素早く音を出します。

X - /ks/

例: fox

解説: 「クス」という音を続けて発音します。少し硬い音です。

Y - /j/

例: yellow

解説: 舌を少し上げて、口を横に広げるようにして「イエ」と発音します。

Z - /z/

例: zebra

解説: Sと同じように舌を使いますが、喉を振動させて「ズ」と発音します。

このフォニックスのルールに基づいて、英語の発音練習をすると、単語の発音がより正確になり、リスニング力も向上します。